

# 平成23年度第3回印西クリーンセンター環境委員会 会議録（概要版）

1. 期 日 平成23年12月3日（土）午前10時～正午12時  
2. 場 所 印西地区環境整備事業組合3階大会議室  
3. 委員出欠状況  
☆甲（11名中 11名出席） ☆乙（26名中 19名出席）  
☆傍聴者 12名 ☆事務局 2名

## 会議次第

1. 開会
2. 議長選出（乙側委員）
3. 議事録署名人の選出
4. 事務局長あいさつ
5. 報告事項

（1）印西クリーンセンター操業状況について

### 5. 報告事項

（1）印西クリーンセンター操業状況について

#### 表—1（ごみの搬入量及び焼却量）

- ・平成23年8月のごみ搬入量は、3,953トン（うち事業系995トン）、ごみ焼却量は、3,425トン
- ・平成23年9月のごみ搬入量は、3,811トン（うち事業系881トン）、ごみ焼却量は、3,614トン
- ・平成23年10月のごみ搬入量は、3,775トン（うち事業系898トン）、ごみ焼却量は、3,619トン
- ・平成23年4月から10月のごみ搬入量合計は、26,733トン（うち事業系6,253トン）ごみ焼却量は、24,361トン

表—2（排出ガス測定）・8月25日（3号炉）、9月1日（1号炉）、10月20日（2号炉）の測定結果は、すべて協定値の範囲内でした。

表—3（騒音・振動測定）・8月25日～26日の間で測定、No.4の昼間及び夕方、No.8の夜間の時間帯で協定値を上回っていますが、その他の地点及び時間帯は協定値以下でした。

表—4（悪臭物質測定）・8月24日に測定しているが協定値の範囲内でした。

表—5（臭気濃度測定）・8月24日に測定しているが敷地境界及び臭突出口では目標値以内、煙突出口では、1回目1,300、2回目1,300でした。

表—6（処理水の水質測定）・前回報告済みです。

表—7（大気測定車による測定）・7月26日から8月25日まで実施していましたが、光化学オキシダントの1時間値で、59回環境基準値を超えておりました。

表—8（排ガス中の重金属測定）・7月21日に測定していますが、シアン水素が定量下限値でその他は定量下限値未満でした。

#### 表—9（ごみ質分析）

- ・平成23年8月25日に行った結果は、紙類33.6%、厨芥類8.3%、布類12.6%、草木類9.1%、プラスチック類27.1%、ゴム類5.9%、金属類1.6%、ガラス類0%、セト物・砂・石1.2%、その他0.6%、水分46%、見掛比重0.143kg/l、低位発熱量2,470kcal/kg

#### 搬入車両数と搬出車両数、残灰量の推移

（搬入車両数）8月3,668台、9月3,556台、10月3,658台、4月から10月までの計は25,047台で、前年度の同時期と比較で、5.13%の増。

（搬出車両数）8月128台、9月120台、10月127台、4月から10月までの計は911台、前年度の同時期と比較して7.81%増。

（残灰量の推移）・前回報告済みです。

※訂正箇所 操業報告 表—5(2)臭突出口の数値が500となっているところを空欄にする。

### 6. その他

#### 【質疑】印西クリーンセンター焼却灰（主灰・飛灰）の放射性セシウム濃度測定結果に伴う処理状況について

[甲委員] 6月と7月の飛灰は基準値の8,000ベクレルパーキログラムの値を超える放射性セシウムが検出されましたが、8月以降はすべて基準値を下回り、直近の11月24日の測定結果は、主灰が793ベクレルパーキログラム、飛灰が3,830ベクレルパーキログラムであり、排ガスの測定結果は放射性ヨウ素、放射性セシウムについてもともに不検出でした。

また、主灰は、印西地区一般廃棄物最終処分場に埋め立て処分をしています。

飛灰は、8月8日まではドラム缶又は、フレコンバッグで約130トンを組合で保管しており、7月後半の8,000ベクレルパーキログラム以下の測定結果を受けまして、飛灰は、8月11日以降は千葉県内の市原エコセメント株

式会社に主灰と飛灰の混合灰を1対1の割合で搬出をしております。

市原エコセメントの操業停止後、11月17日からの分は、組合で保管をしており、12月3日時点で約82トンですが、現在、外部の処理受入れ機関を探しています。

[乙委員] 今後、どういう受け入れ先を探しているのですか。市原エコセメントはもうしばらく操業停止になるということでしょうか。

[甲委員] 市原エコセメントは受け入れが止まっており、現状搬出先は、処分場と資源化の両方で探しております。

[乙委員] 国の規制値以下で埋め立てができないのは何故でしょうか。

[甲委員] 埋め立てについては、最終処分場周辺の自治会と協議中でございます。

[乙委員] 3月11日以降、既に焼却して埋め立てている焼却灰の測定結果はどうだったのでしょうか。

[甲委員] 資料にありますように、3月、4月、5月、6月の埋め立て分について測定しています。

[乙委員] 市原エコセメントに依頼をすることになったのは、放射性物質の濃度を下げるのが主目的ですか。

[甲委員] 飛灰のみで資源化できる施設が市原エコセメントしかないためです。

[乙委員] 市原エコセメントの製品についても、ダイオキシン類等の問題はないとかということを確認されているのでしょうか。

[甲委員] 基本的には問題ないということは聞いていますが、全て把握をしていませんので、次回までにご報告したいと思います。

#### 【質疑】印西クリーンセンター次期中間処理施設整備説明会実施状況について

[甲委員] 7月31日に東京電機大学の福田ホールにて全体の説明会を開催し、以降は、大塚三丁目町内会（大塚三丁目町内会集会所）、住民の暮らしを考える会（印西市文化ホール）、チバニューコミュニティ榎（木刈フレンドリープラザ）、大塚三丁目町内会（フコク生命研修センター）で説明会を行っています。

また、今後も12月中の日曜日に行う予定です。

[乙委員] 私は施設の移転について大体においては反対ではないのですが、詳しいことは専門的な知識を持っている方が専門的な部会を開いてやっていただきたいと思うのですが。

[議 長] 専門部会を設けることについて組合のほうのご意見いかがですか。

[甲委員] ご要望があれば対応いたします。

[議 長] 甲、乙委員による専門部会を設けることとします。

#### 【質疑】ダイオキシン類、千葉県における化学物質の排出量、移動量について

[甲委員] 印西クリーンセンターのダイオキシン類につきましては、大気への排出は、平成21年度が10、平成20年度9.1、平成19年度17、移動量は平成21年度460、平成20年度310、平成19年度330でいずれも単位はmg-T E Qです。

#### 【質疑】補助燃料使用量、エネルギー収支、エネルギー起源及び非エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量、定期点検補修、その他の休炉、故障実績、余熱利用実績について

[甲委員] 補助燃料の使用量は、灯油が3万、851リッター、エネルギー収支は12月1日現在で、蒸気の量が8万1,924.3トン発生しており、使用内訳は、発電用が40.9%、温水センター3.6%、プロセス用が27.74%、高圧復水器に12.39%、熱供給に15.32%、エネルギー起源のCO<sub>2</sub>の排出量は平成22年度の実績で2,022トン、非エネルギー起源のCO<sub>2</sub>は22,951トンです。

次に、定期点検補修の内容は、3号ボイラー第1放射室取り換え工事、HC1分析計、それからコンピューター関係でのACC、DCSの交換を行っており、定期点検を8月3日から11月15日までの間で実施している他に、ボイラーにピンホールをふさぐ工事を12月4日から10日で実施する予定です。

余熱利用実績は、温水センターに3.6%、株式会社千葉ニュータウンセンター熱供給事業本部に15.32%です。

#### 【質疑】市町では震災廃棄物処理計画の策定がなされているか、また、3月11日の震災で機能しましたか

[甲委員] 震災廃棄物処理計画は各市町村において地域防災計画を踏まえて策定されるものでありますが、その処理に当たっては組合事務になり、3月11日の東日本大震災で発生した震災廃棄物につきましても組合で速やかに処理されたものと考えております。

#### 【質疑】法律上、周辺住民の同意が得られなくても施設の建設はできるのですか。

[甲委員] 基本的に法律上で同意は必要とされていませんが、改めた公害防止協定を締結することを目途に、十分なご理解を得てまいりたいと考えております。

## 7. 閉会

[事務局] それでは、本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございますございました。

次回は、第4回委員会ですけれども、3月2日金曜日の午後8時からこの会場で開催を予定しておりますので、よろしくお願いたします。

以上をもちまして第3回環境委員会を閉会いたします。お疲れさまでございました。